

炭酸ガスを高濃度で維持するために、炭酸泉の湯温は 38 度程度が適温とされますが、炭酸泉は実際の温度よりも 2.3 度温かく感じやすい特性があり、低い温度のお湯でも快適に入浴が行えます。体の芯から温まり、湯上り後も体がポカポカ温かく、持続性が強いのが炭酸泉の特徴です。

どのような症状に効くのか？

炭酸泉は非常に高い血流改善効果と、筋肉などの組織に対する酸素量を増加させる効果が得られることより、様々な症状の改善が期待されます。

(図4)

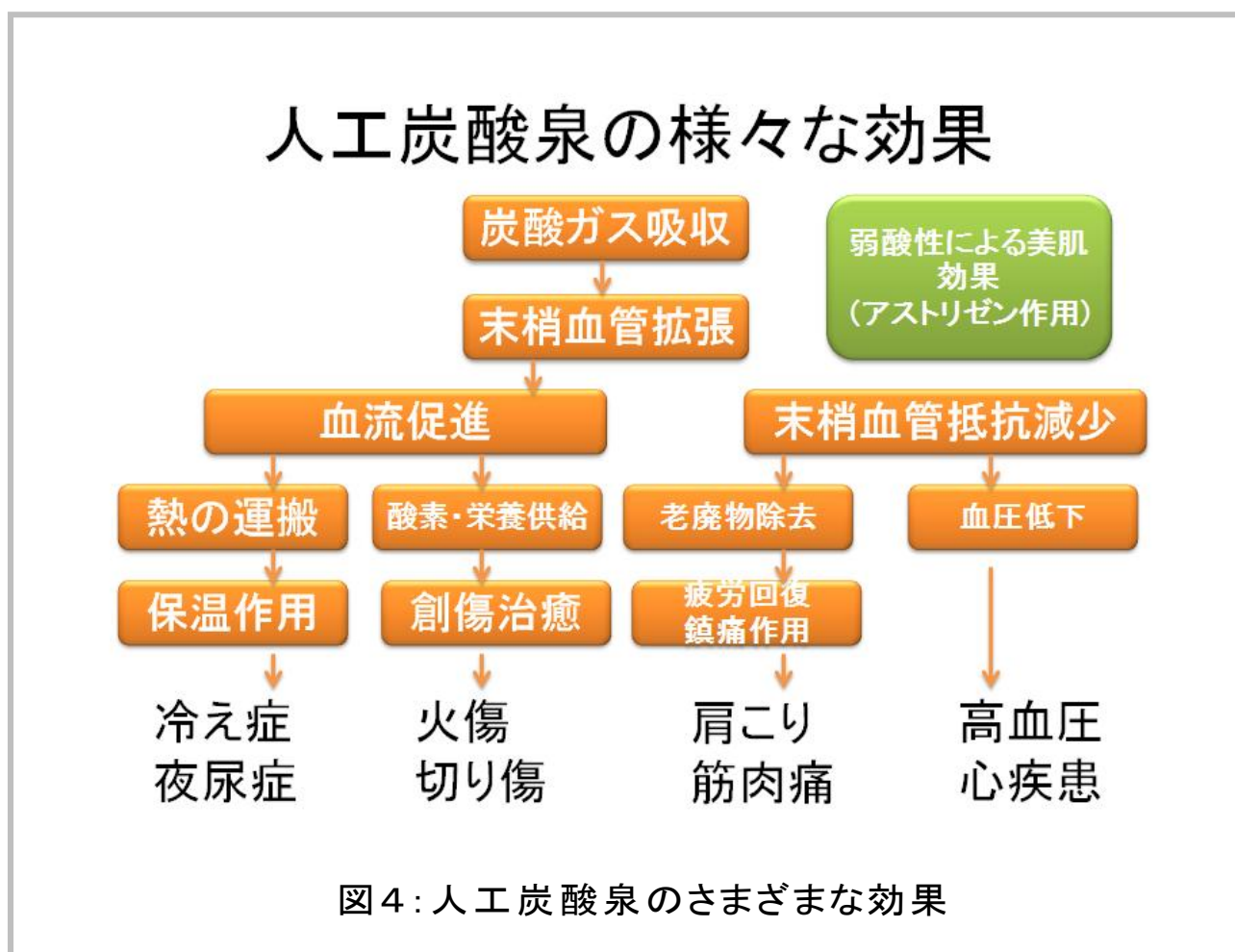


図4:人工炭酸泉のさまざまな効果

全身の血液循環が改善するという事は、体の隅々まで栄養と酸素を運ぶことが可能になるという事です。たっぷりの栄養と酸素が行き届けば、細胞レベルで健康な状態を保て、キズなども治りも早くなります。また、余分な老廃物の回収も同時に行え、疲労回復や筋肉の痛みなども改善させ